

身近な子育て応援団

子育て支援センター「すくすく」

子どもを自由に遊ばせながら、子ども同士、親同士が友達になったり、育児の不安や悩みを語り合ったり、情報交換する場です。（＊毎月のイベント情報は子育て情報誌「ういず」に掲載されています。市のHPからも閲覧可能。）

【開所日】月～土曜日 8時半～17時
【場 所・問い合わせ】
伊都文化会館入口西側（前原東2-1-25） 092-321-0464

くすくすく広場>
午前：10時～12時 午後：13時～16時

くすくすく子育て教室>
火曜日：2歳児以上 水曜日：1歳児 木曜日：0歳児
いずれも月2回程度 10時～12時

はるかぜキッズ

0～3歳の子どもを対象にした育児支援講座です。お気軽にご参加ください。

【日 時】年間7回（詳細は公民館だよりでお知らせします）
【場 所・問い合わせ】東風公民館（潤4-10-2）092-321-1114

保育所での子育て支援

泊保育所では、園庭開放（毎日9時半～11時）、子育て相談（要予約）を随時行っています。

【問い合わせ】泊保育所（泊1316-2）092-322-3043

赤ちゃんサロン「あっぱっぷ」

親子が気軽に訪れることのできる身近な子育てサロン（0歳児中心）で、福祉センターあごらで開催しています。仲間作り、情報交換の場としてご利用ください。

【問い合わせ】子育て支援センターすくすく 092-321-0464

いとしまの遊び場ったい！

合言葉は"けがと弁当は自分もち"。木登り、焚火、べっこう飴づくり、廃材での工作など、子ども達が自分でやりたいことを思いっきり楽しんで実現できる遊び場です。健康福祉センターあごらの「やすらぎ広場」で毎月第1日曜日に開催（10時～15時）。詳細はHPやFacebookでご確認ください。

おもちゃ図書館いとっこ

健康福祉センターあごら2階にて、毎週第2火曜、第4土曜日（10時～11時半）に開催。障がいのある子もない子も手づくりの布のおもちゃを通してあそび、学ぶことを目的としています。おもちゃや本の貸し出しも有。

【問い合わせ】健康福祉センターあごら内 092-322-6262

保育所での一時預かり

急用の時、保育所に入所していない子どもを一時預けることができます。時間・料金などは市のHPを参照して、直接保育所にお問い合わせください。

糸島市ファミリー・サポート・センター（いとしまファミサポ）

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

【問い合わせ】092-332-8717

病児・病後児保育施設「コアラ」

仕事などで保護者が昼間留守にする場合、病気の回復期、または病状の急変が認められない状況にあるお子さん（生後3か月～小学6年生まで）を一時預かりします。【問い合わせ】092-322-9720



近隣の直売所

●一番田舎

【場 所】泊1410-1
（糸島医師会病院近く）
【営業日時】8時～18時
毎週月曜定休日
【電 話】092-323-1140



●JA糸島産直市場 伊都菜彩

【場 所】波多江567-1
【営業日時】9時～18時
1月1日～3日定休日
【電 話】092-324-3131



●JF糸島 志摩の四季

【場 所】志摩津和崎33-1
【営業日時】8時半～17時半
盆正月定休
【電 話】092-327-4033



近所で気軽に農業体験！



東風校区周辺には、気軽に農業体験できるように小
区画に区切った畑の貸し出し（市民農園）がありま
す。手塩にかけた植物が育ち、実際に食べるまでの
過程を通じて、農業の楽しさや感謝の気持ちを実感
することができます。

農ライフを
楽しもう！

●一番田舎ふれあいファーム農園（市民農園型）

直売所の一番田舎に併設し、広い駐車場もあります。
有機野菜の作付指導なども行っています。

【場 所】泊1410-1他
【区画数】58区画（24㎡/区画）
【利用料】12,000円/年
【問い合わせ】092-323-1140

※市民農園型…利用者自らが種苗、肥料、農具などを用意し、栽培計画や耕作を行うもの。



市内を巡る暮らしに便利な交通MAP！

バス・鉄道などの市内公共交通機関の路線図、時刻表を掲載した「糸島市公共交通ガイド」を電子ブックで見ることができます！



地域のてびき



東風（はるかぜ）校区



東風（はるかぜ）校区



基本情報

●最寄駅：JR糸島高校前駅、波多江駅

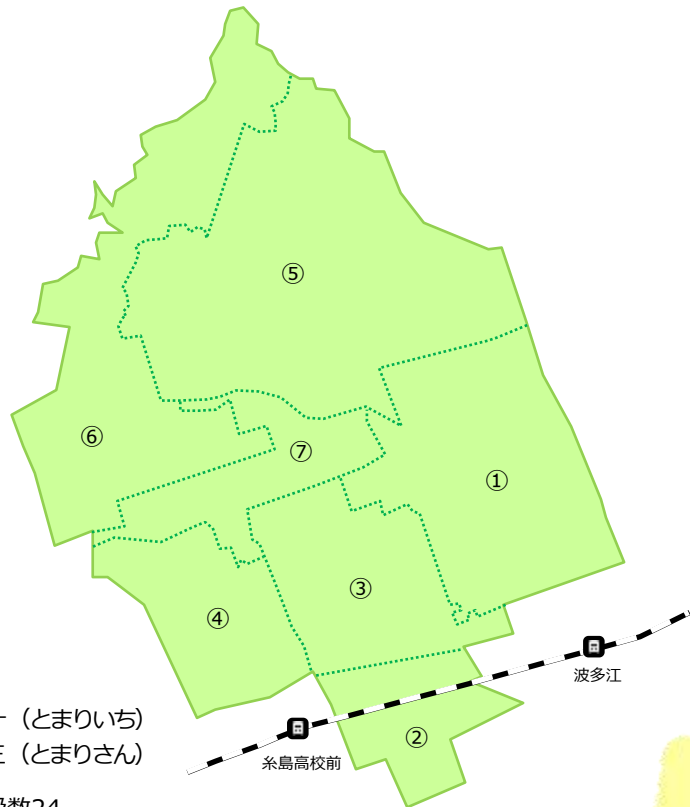
●人 口：8,999人

●世帯数：3,879世帯

●行政区名：①志登（しと）
②潤南（うるうみなみ）
③潤北（うるうきた）
④浦志東（うらしひがし）⑤泊一（とまりいち）
⑥泊二（とまりに）⑦泊三（とまりさん）

●小中学校：東風小学校 / 児童数603人・学級数24
前原西中学校 / 生徒数711人・学級数27
前原東中学校 / 生徒数692人・学級数23

※人口・世帯数は令和元年11月末、小中学校の情報は令和元年5月1日現在



上 / 九州大学留学生との異文化交流餅つき
下 / 東風小近くから見える九州大学

雷山川沿いにある桜は、春になるとキレイですね。最近、東風小学校周辺の道が整備されて、広くなったり歩道と自転車道が分けられたりして安全になりました。行政区の行事は年2回の環境整備と運動会、バレー大会、隣組や行政区の総会くらいだから、あまり負担にも感じません。外食するのも、楽しみなお店も、いろいろあります。遠方にわざわざ連れて行かなくても、気軽に芥屋や幣の浜に海水浴に行けるし、夫は釣りに行って楽しんでいます。福岡市方面に近い場所で利便性は非常に良いと思います。

東風校区在住
40代女性

移住者の声

スーパーが近くにあり買い物に便利な校区です。病院も近いので安心ですね。新しい住宅街は街灯も整備され、夜でも道が安全です。天気の良い休日には子どもと近所を散歩します。小学校の回りを歩いたり、牛舎や田畑のあるところまで歩いてみたり、のんびり楽しんでいます。神社や地域の運動会などもありますが、今のところ負担に感じることは少ないです。海にも山にも近く、気軽に出かけてすぐに家まで帰り着けるのもいいですね。

東風校区在住
30代男性

ここが東風校区の特長！

平成

20年度、当時の前原市から「校区まちづくり計画」のモデル地区の指定を受け、東風校区まちづくり推進委員会を設立し「課題解決型のまちづくり」に取り組んでいる地域です。糸島市では一番新しい校区で、農地も住宅街も古代遺跡もあるバラエティーに富んだまちです。

◆九州大学との交流

東風校区は九州大学伊都キャンパスと近接していることから、九大生との交流が盛んです。毎年、九大留学生との餅つき交流会、面白科学実験教室、九大ジャズ研の定期演奏会を行うなど、様々な交流をしています。九大と地域があらゆる面で連携を深め、一人ひとりが輝き、大切にされ、安全で安心して暮せる地域づくりをめざしています。

◆東風小学校

平成18年に開校した、糸島市内で最も新しい小学校です。木の温もりを感じさせる平屋造りの校舎と、排水設備を備えた運動場は市内で唯一。この設備のおかげで、通常の降雨量であれば、降り止んでから1時間程度で子どもたちが遊んだり運動したりできます。優しい田園風景に囲まれており、市内中心部に位置しながらも素朴な雰囲気が魅力的です。

◆盛んな農業

国道202号線沿いは、生活利便施設が立ち並ぶ一方で、県内外でも評価の高い糸島牛をはじめ、野菜や果物など農業も盛んな地域です。初夏にはブルーベリーなどの農園もオープンして多くの人で賑わいます。また、東風小学校では、近隣の田んぼを借りて田植え体験も行われています。

◆地域福祉推進の拠点「あごら」

健康づくり、子育て支援、ボランティアの育成など、総合的な保健福祉対策の推進を図るための施設です。健康づくりに関する取り組みが行われているほか、トレーニング機器の利用もでき、地域の交流会やサークル活動などに部屋の貸し出しも行っています。また、図書室は、未使用時には自習室として開放されています。

◆校区交流駅伝大会

子どもが参加する行事も多く、隣接する前原校区との交流を目的とした「前原校区・東風校区交流駅伝大会」や毎年6月に行われる「校区球技大会」（ビーチバレー大会）は、行政区同士の交流の一役を担っています。

◆志登支石墓群（しとしせきぼぐん）

東風小学校の東側にはこんもりとした茂みがあります。これは、全国でも有名な古代の遺跡です。昭和28年に県による発掘調査が行われ、およそ2,200年前の弥生時代前期の朝鮮式古代墓制であることが分かりました。



左 / 志登支石墓群 右 / 東風小学校

◆校区・行政区とは？

糸島市には小学校が16校、中学校が6校あり、小学校の通学範囲を「小学校区（校区）」といいます。また、市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を163の「行政区」に分けており、各行政区内では自治組織（自治会・町内会）が形成されています。主に小学校区・行政区単位で、お祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心して住みよいまちづくりのため、様々な地域活動が自主的に取り組まれています。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」を大切にし、地域住民の連帯意識の向上に努めています。

◆自治組織に加入するには？



加入は、お住まいの地域の自治会長に申し出てください。お住まいの自治会長がご不明なときは、糸島市地域振興課（092-332-2062）までお問い合わせください。新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織（自治会、町内会）」に加入しましょう！

※自治組織によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動費等として、自治会費や入会費を納める必要があります。詳しくは自治会長へお問い合わせください。

